

会 議 録	
会議名	令和 5 年度第 1 回在宅医療・介護連携推進協議会 広報啓発部会
日 時	令和 5 年 6 月 27 日 (火) 13 時 30 分～14 時 30 分
会 場	WEB 会議 (Google Meet)
参加者	<p>【部会長】吉寄 太朗 (吉崎歯科医院)</p> <p>【副部会長】白井 健志 (三郷中央総合病院)、</p> <p>【委 員】栗原 一樹 (采女の里デイサービスセンター) 杉山郷美 (福祉のニッカ介護相談室) 趙理明 (地域包括支援センター早稲田)</p> <p>【サポートセンター/医師会事務局】藤井なほ美、川島幸道</p> <p>【市事務局】八巻絢子、小笠原郷太、久保田恵子</p>
検討課題	<p>1. 広報啓発部会の活動について</p> <p>2. 今年度の活動方針</p>
内 容	<p>1. 広報啓発部会の目的、部会長、部副会長の確認、委員の確認 (1 人変更)</p> <p>各委員に確認、了承頂いた。</p> <p>2. 今年度のスケジュールについて</p> <p>本日を第 1 回とし、3～4 回で開催予定とし適宜実施する。</p> <p>3. 予算について</p> <p>今年度の予算については 40 万 (税込み) となっている。</p> <p>4. 今までの活動内容 (市民向け研修会、冊子の作成等の実施)</p> <p>平成 29 年度は特養の看取りで石飛幸三先生、平成 30 年度は在宅での看取りで小笠原文雄先生にご講演をいただいた。</p> <p>令和元年は、介護ミニ講座として、市民向けの小規模な講座を開催することとし、介護の入口として地域包括センターの話を中心に実施した。</p> <p>令和 2 年度はコロナ感染症拡大防止の観点から、冊子の配布とし、医療介護の取っ掛かりとして、令和元年のミニ講座を参考に絵本風 B5 冊子「介護の絵本」を作成し配布した。令和 3 年度も引き続き、冊子の作成とし ACP 啓発として「人生会議の絵本」を作成、配布した。令和 4 年度は絵本 3 部作の最期に在宅看取り啓発として、「在宅看取りの絵本」を作成、配布した。</p> <p>5. 在宅医療介護について市民に対する啓発課題</p>

- ①三郷市在宅医療介護連携推進協議会で出ている市民に対する課題
 - ・在宅看取りについて、市民は考える、触れる環境が少ない
- ②令和 4 年までの広報啓発部会で啓発活動を行っている三郷市の課題
 - ・ACP（看取りを含む）の普及啓発
 - ・日常の療養、医療介護サービスについての知識啓発

6. 今年度の方針と計画

令和 2～4 年まではコロナ感染症まん延の影響で市民へ会場を利用した講演・研修を行う事が難しく、啓発冊子配布を行う事になった。

絵本風冊子（介護の絵本）（人生会議の絵本）（在宅看取りの絵本）が完成し、医療介護の支援が必要な方や ACP について、市民啓発へ一連の流れをまとめることができた。

今年度はコロナ感染症の影響が少なくなり、これらの啓発冊子を利用しながら、市民に周知する為、会場で講演会・研修会ができるよう検討していく。

①活動テーマ

三郷市在宅医療介護連携推進協議会の広報啓発方針決定を踏まえて令和 5 年活動テーマは「在宅看取り ACP」となった。

②活動方法についての各委員の意見交換

- 絵本を基に動画を作成し、講演会等で資料として活用し啓発する。
動画を作成することで、今後の活動で繰り返し使用できる。また市のホームページに載せたりして啓発に役立てることが出来る。
- 絵本を大きなスライドで表示し、バックに優しい音楽を流しながら読み合わせていく。絵本の 1 シーンを寸劇のようにしてみても面白いかもしれない。リアルに読むもの、聞くもの見るものに変えていくのが良いのかなと思う。
- 市民向けなので分かりやすくしたい。動画を流した後に参加者が話せることがあれば、自身の気づきとか各々が考えるきっかけになって良いと思う。
- 去年作った絵本を利用し、寸劇や読み聞かせを録画して、動画などを形に残していく事は今後に繋げていくには良いと思う。
- 紙芝居でやっていく事もいいのかなと思う。三郷市が読書の町を宣言していることもあり、例えば図書館とコラボして児童向け紙芝居なども行っても良いかなと思う。
- 協議会の方では在宅看取りを考えられる機会を作るとの趣旨で、

	<p>広報啓発部会が市民にどのようなメッセージを伝えるかについて、在宅看取りとはどのようなものか、在宅看取りを考えた場合、支援を得て、できるかもしれないという事を伝える。</p> <p>事例を通してどんなことをするのか、各説明を加えてどのような支援が受けられるのか伝わればよいのかなと思う。</p> <p>■在宅看取りが受け入れられない原因として、自分一人では看取れる自信が無い。お金がかかる。大変だ、時間が無いなど、デメリットを感じる事が少なからずあり、それらを上回るメリット、在宅看取りをして良かったと思える事などがあるということ伝えることが啓発に繋がるのかなと思う。寝たきりになると病院や施設を探すということが多いが、選択肢の一つとして在宅看取りを考えるきっかけになればよい。</p> <p>■寸劇にすると準備と時間が掛かり大変なと思うので、読み聞かせを行い、物語の1シーンごとにこんなこともある等詳細を説明しながら全体を伝えるのも良い。</p> <p>■事前に専門職からこうしたら良いなどのアドバイスは貰えないだろうか。参加者に事前アンケートなどで質問を募れないか。そうすれば、事前に方向性を準備することができる。</p> <p>■以前の講演会でどのように参加者を集めたか： 市主催で2回大きな講演会をした時は市の広報、ホームページだけでは会場が埋まらないので、シルバー元気塾でチラシを配ったりした。 ミニ講座の時は包括に協力して貰いチラシを配ったりした。</p> <p>■内容は決まっているので読む人を誰にするとか、例えば登場人物ごとに配役を決めるとかしていく。</p> <p>■どの規模で講演を行うかによって参加者を募る大変さが全然違う。20人程度の講演会にし、長い目で見て継続的に行う方向が良いのではないか。</p>
結論	<p>1. 2. 3. 4 承認</p> <p>5. 令和5年度活動課題 「在宅看取り」をテーマにし、市民へ啓発活動を行う。</p> <p>6. 今年度の活動方針と計画案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民講演を行う前に、講演資料として「在宅看取りの絵本」を活用して、絵本読み聞かせ動画を作る。 ・読み聞かせ動画＋全体ディスカッション形式の講演会を

	<p>行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・講演動画用に絵本に内容説明や追加の説明を加えてボリュームアップしておく。・絵本を誰が読むか、配役等を決める。・他にも MCS にて、意見を集う。絵本のボリュームアップを考えてもらう。
次回検討課題	講演会資料動画の作成計画。講演会の実行案を決議する。
次回開催日時	令和5年7月25日（火）13:30～ WEB会議（グーグルミート）